

## 第二回 丸山眞男研究プロジェクト研究会概要

日 時 二〇一二年二月一四日(金)一七時三〇分～二〇時三〇分

場 所 東京女子大学 本館〇二一会議室

報告者 土合文夫氏(東京女子大学教授)

論 題 丸山眞男の楽譜蔵書をめぐって

丸山が遺した楽譜類のうち、丸山文庫が所蔵する六〇〇点あまりについては、調査結果を『丸山眞男記念比較思想研究センター』第七号掲載の「丸山文庫楽譜蔵書の調査をひとまず終えて」で報告した。書き込みなどの具体的なデータは、いずれネット上で公開されることになるだろう。

ただし、これ以外にも、ピアノの演奏譜を中心にかなりの点数の楽譜が丸山家に残されていることが分かったので、数度にわたっておおまかな調査を行った。時間的な制約もあり、不完全な調査に留まらざるを得なかったが、丸山の遺した文章(ことに、歿後にまとめられた断章集『春曙帖』に所収のもの)からして、当然あるべきだが、丸山文庫には収蔵されていない楽譜類(バッハの『平均律クラヴィーア曲集』、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトのピアノ・ソナタなど)の所在を確認できたことは収穫だった。

だが、丸山の音楽生活の全貌を窺うためには、楽譜の調査だけではなく不十分であり、丸山家に残されていた膨大なレコードやCD・LDなどのコレクション、それにFM放送を録音したテープ、さらには、演奏会のパンフレット類などの調査が不可欠である。幸い篤志の方々によるこれらの資料の整理が継続中なので、その目途がつき、データを御提供いただければ、丸山の音楽とのかかわりについて、より完全に近い基礎資料が得られることになるだろうと期待している。